

出雲市デジタル田園都市構想総合戦略の策定について

1 策定方針

(1) 出雲市デジタル田園都市構想総合戦略の策定について

本市の総合戦略「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」（以下「第2期総合戦略」）は本年度末で終期を迎えるため、本年度中に次期総合戦略を策定します。

国は、『デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決する』ため、2023年度を初年度とする5か年の新たな総合戦略である「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

市の総合戦略は国及び県の総合戦略を勘案し策定するよう努めなければならないため、次期総合戦略の名称は「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」（以下「次期総合戦略」）とし、内容には国の総合戦略と同様に、デジタルの力を活用する内容を盛り込みます。

(2) 後期基本計画と次期総合戦略の一体的な策定

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」（以下「総合振興計画」）の具体的な施策等を示した前期基本計画も本年度末で終期を迎えるため、前期基本計画の検証等を踏まえ、本年度中に後期基本計画を策定します。

後期基本計画及び次期総合戦略は将来にわたり持続可能な出雲市を実現するという目標が共通することから、整合性を図り一体的に策定していくこととします。

2 策定に係るポイント

(1) 次期総合戦略の基本目標は、現行の第2期総合戦略の基本目標を引き継ぎます。

◆第2期総合戦略の基本目標

基本目標1 出雲も特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

基本目標2 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる

基本目標3 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

基本目標4 住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

(2) 基本目標を実現するための「具体的施策」の内容は、後期基本計画の「具体的施策」と整合性を図ります。また、「具体的施策」にはデジタルの力を活用した内容も盛り込みます。

(3) 後期基本計画と次期総合戦略の両計画で設定する「まちづくりの指標（KPI）」は同じものとし、

3 計画期間

後期基本計画と次期総合戦略の計画期間は5年（令和7年～11年）とします。

区分	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	—	
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	
総合振興計画	基本構想（8年）									
	前期基本計画（3年）			後期基本計画（5年）						
総合戦略	第2期総合戦略（5年）				次期総合戦略（5年）					

4 策定の流れ

(1) 計画審議のための会議

- ・ 現行の「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」は8月1日から「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略推進会議」と名称を改めます。委員の皆様は、同会議の委員として改めて委嘱させていただきます。
- ・ 後期基本計画との整合性を図るため、後期基本計画策定のために開催する「出雲市総合計画評価検討会議」と推進会議は同一の委員で構成し、後期基本計画及び次期総合戦略について意見聴取を行います。

(2) 市民意見の反映

①市民満足度調査

幅広い世代から本市の課題抽出を行うため、18歳以上の市民を対象に、市政への満足度を調査します。

②高校生アンケート

若い世代からの意見を聴取し、本市への課題抽出を行うため、市内8校の高校生を対象に定住意向や将来のまちづくりについて調査します。

③市政懇談会の開催

市長自ら市民の意見を直接聞くため、中学校区単位（14箇所）での市政懇談会を開催します。

④パブリックコメントの実施

次期総合戦略の案の段階において、パブリックコメントを実施します。

(3) 議会への説明

- 9月議会 前期基本計画及び第2期総合戦略の効果検証の報告
- 12月議会 後期基本計画（案）及び次期総合戦略（案）について報告
- 3月議会 後期基本計画及び次期総合戦略の策定について報告

(4) スケジュール

令和6年									令和7年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期基本計画・次期総合戦略案作成									パブコメ		
		◎		●	◎	●	●	◎		●	★
		6月議会		第1回	9月議会	第2回	第3回	12月議会		第4回	3月議会
											策定

●印：出雲市デジタル田園都市構想総合戦略推進会議、出雲市総合計画評価検討会議